

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 滋賀県共同募金会



目 次

I	令和2年度共同募金運動の総括・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	令和2年度事業の重点事項・・・・・・・・・・・・・・・・	3
III	共同募金会の運営・・・・・・・・・・・・・・・・	6
IV	募金・広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・	9
V	災害たすけあいの実施・・・・・・・・・・・・・・・・	9
VI	中央および近畿ブロックの会議への参加等・・・・・・・・	10
VII	顕彰の実施・・・・・・・・・・・・・・・・	10
VIII	受配者指定寄附金の受付・・・・・・・・・・・・・・・・	11
IX	民間助成事業の推薦・・・・・・・・・・・・・・・・	11
X	その他・・・・・・・・・・・・・・・・	11

I. 令和2年度共同募金運動の総括

1. 目標額の設定

令和2年度(第74回)の目標額について、A募金目標額として決定されている広域助成金および各市町共同募金委員会が地域の福祉事業に充当する地域助成金ならびに歳末たすけあい助成金の総額を取りまとめ、次のとおり設定した。

(1) 一般募金目標額	149,811,000 円
(2) 歳末たすけあい募金目標額	79,147,000 円
(3) 目標総額	228,958,000 円

2. 共同募金運動の実施

令和2年度の運動期間の開始が新型コロナウイルス感染症の第二波と重なる時期となったため、事前に市町共同募金委員会担当者連絡会を開催し、中央共同募金会作成の「募金活動実施にあたっての衛生配慮に係るガイドライン」の共有や情報交換を行い、街頭募金用に呼びかけのためのCD音声データや啓発用のポスターの提供を実施した上で、募金運動に臨んだ。

本会では、10月1日にJR膳所駅前において、滋賀県副知事、滋賀県議会議長および行政関係者等の参加協力を得て、感染防止に配慮しながらキックオフイベントとしての街頭募金を実施した。

また、各市町共同募金委員会においても、県内各地において様々な配慮や調整を行った上で、募金ボランティア等の協力のもと募金活動を展開した。

3. 募金実績額

通常期間(令和2年10月1日から12月31日まで)および拡大期間(令和3年1月1日から3月31日まで)を通じた本年度の募金実績額は、次のとおりであった。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により募金活動に様々な制約が生じ、その結果、街頭募金、法人募金およびイベント募金はかつてない大幅な減少を見た。一方で、募金種別の中で最も大きな比率を占める戸別募金についてはわずかな減少に留まり、拡大期間におけるテーマ型募金については実績総額が前年度を上回るなどしており、これらが全体の下支えをして大幅な募金実績総額の減少を回避することができた。

種 別	募 金 額	対前年度比
一般募金	129,152,441 円	△10,887,905 円 (92.2%)
地域歳末	65,045,607 円	△1,081,986 円 (98.4%)
NHK歳末	5,458,101 円	+639,099 円 (113.3%)
歳末たすけあい募金	70,503,708 円	△442,887 円 (99.4%)
通常期間募金実績 小計	199,656,149 円	△ 11,330,792 円 (94.6%)
使途選択型募金	4,196,746 円	+1,246,995 円 (142.3%)
テーマ型募金	3,614,561 円	△167,932 円 (95.6%)
拡大期間募金実績 小計	7,811,307 円	+1,079,063 円 (116.0%)
募金実績額 合計	207,467,456 円	△ 10,251,729 円 (95.3%)

4. 令和2年度赤い羽根共同募金の執行計画

通常期間の共同募金実績額の確定を受けて、3月に次のとおり助成決定額をはじめとした執行計画を決定した。

種	別	執行計画額 (助成決定額等)	助成決定 件数
共同募金	広域助成事業 (滋賀の町を良くするしくみ助成事業)	15,187,000 円	40 件
	赤い羽根運動推進チャレンジ事業	5,000,000 円	5 件
	翌年度募集事業	4,574,000 円	
	災害等準備金	6,100,000 円	
	募金活動推進費	37,000,000 円	
	広域事業費 合計	67,861,000 円	
	地域助成金	53,712,967 円	
	市町募金活動推進費	8,439,474 円	
	地域事業費 合計	62,152,441 円	
	一般募金助成事業 (広域事業費+地域事業費 合計) ※1	130,013,441 円	
	地域歳末たすけあい助成金	48,243,992 円	
	翌年度助成金 (歳末剰余金)	14,545,251 円	
	募金活動推進費	2,256,364 円	
	地域歳末たすけあい 合計	65,045,607 円	
	NHK歳末たすけあい助成金	4,070,000 円	13 件
翌年度助成金	1,700,000 円		
募金活動推進費	288,101 円		
NHK歳末たすけあい 合計 ※2	6,058,101 円		
歳末たすけあい助成事業 合計	71,103,708 円		
共同募金 合計	201,117,149 円		

(注) ※1. 一般募金の執行計画額には、令和元年度からの繰越分 861,000 円を含む。

※2. NHK歳末たすけあいの執行計画額には、令和元年度からの繰越分 600,000 円を含む。

なお、拡大期間における募金については、運動期間が3月末までであることから、4月以降に助成を行うこととしている。

II. 令和2年度事業の重点事項

1. 寄付者の理解と共感が得られる共同募金への取り組みについて

(1) 広域助成事業の「見える化」を柱とした共同募金運動の活性化

本会が実施する広域助成事業について、4月から申請募集を開始し、8月に助成先を決定した上、10月からの運動期間において寄付者に理解と共感が得られるよう具体的な使いみちを訴えながら、広く募金の協力をお願いした。

また、申請募集に当たっては、市町社会福祉協議会やNPOの中間支援組織、福祉関係団体等と連携を図りながら、新たな福祉課題を助成事業に結びつけるための取り組みを進めた。

(2) 赤い羽根共同募金運動再生プロジェクトを通じた地域における「見える化」の推進

①赤い羽根運動推進チャレンジ事業

公募や開かれた審査などを行う新たな助成事業の実施により、地域における「つかいみちの見える化」や地域住民をはじめとした多様な方々の参画を促すための取り組みを展開する次の5つの市町共同募金委員会に対して、その助成財源を支援した。

- ・ 大津市共同募金委員会 「赤い羽根チャレンジ事業」
- ・ 守山市共同募金委員会 「赤い羽根チャレンジ事業」
- ・ 甲賀市共同募金委員会 「笑顔つなげるミライ助成」
- ・ 高島市共同募金委員会 「たかしま未来助成金」
- ・ 米原市共同募金委員会 「まいばらコラボチャレンジ事業」

②運動再生に向けた取り組み支援

「テーマ型募金」の導入促進に取り組むとともに、各市町共同募金委員会の実施する募金改革会議等への本会職員の参画と助言に努めた。

また、運動の再生に向けた新たな募金手法の導入などを進める2つの市町共同募金委員会に対して、運営費面からの支援を行った。

(3) 寄付者に伝わる広報活動の展開

①より身近な広報資材の導入と活用

寄付者に募金をより身近なものとしてとらえてもらえるよう、昨年度から市町ごとの編集の幅を広げた全戸配布用のちらし「ゆくえとけいかく」について、本年度も同様の方式で発行した。

また、コロナ禍における募金活動実施のため、街頭募金用のパネルサイズのポスターや大型店舗内に設置する募金箱用のチラシの作成、CD音声データの準備などを行い、より寄付者に関心を持っていただけるように努めた。

なお、助成団体における助成物品等への明示についても、地域住民への一層の周知を図るため、門扉・フェンス等への本会作成の明示プレートの掲示や団体の広報紙やホームページにおける積極的な掲載を依頼した。

②新たな募金資材の開発

昨年度に引き続き、彦根市共同募金委員会における「ひこにゃん×赤い羽根コラボ募金バッジ」を活用した新たな協力先の開拓を柱とする募金運動の展開および甲賀市共同募金委員会におけるデザイン公募や投票を通じ多様な主体の参加を可能とした「甲賀流赤い羽根バッジ」の取り組みを支援した。

その他に、東近江市共同募金委員会においてもデザインを更新しながらバッジ募金を継続実施している。

なお、寄付つき自動販売機については、守山市などで新たに設置が実施されるなど、県内全体で順調に台数を伸ばしている。

(4) 拡大期間（1月から3月）における「テーマ型募金」活用促進

新たな募金手法を推進する期間として、従来の運動期間から拡大された1月から3月の期間を活用し、より一層寄付者の共感と参加性を高める使途選択型募金およびテーマ型募金を実施した。

①「使途選択型募金」の実施

福祉団体（エントリー認定団体）の課題解決のための取り組みに対し、寄付者が使いみちを選択できる使途選択型募金「つかいみちを選べる募金」を本会事業として実施した。

実績額 4,196,746円（8団体）

②テーマ型募金の実施

募金の使いみちを前面に掲げる取り組みとして、次の市町共同募金委員会においてテーマ型募金を実施した。

実績額 3,614,561円（8事業）

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| ・大津市共同募金委員会 | 「子どもの居場所づくり」 |
| ・近江八幡市共同募金委員会 | 「くらし支えあい応援募金」
「子どもの居場所応援募金」 |
| ・守山市共同募金委員会 | 「子どもの育ち応援募金」 |
| ・高島市共同募金委員会 | 「赤い羽根たかしま見守り募金」 |
| ・東近江市共同募金委員会 | 「見守り活動支援募金」
「子どもを事故から守る募金」 |
| ・日野町共同募金委員会 | 「感染症対策募金」 |

(5) 「赤い羽根 子どもと家族の緊急支援 全国キャンペーン」の活用

新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に困難を抱える子どもと家族の支援活動として、中央共同募金会および全国の都道府県共同募金会と協働実施することとなった全国キャンペーンについて、本会が行う募金活動（共同募金以外の活動として）による寄付金および中央共同募金会からの助成金を原資として、次のとおり公募を行い助成を行った。

○寄付金受入額 9,638,164 円

○助成決定総額 5,966,000 円(29件) (収入との差額は令和3年度事業に充当)

・第1次募集 (令和2年5月14日から6月30日まで)

決定件数 9件 (決定金額 1,096,000 円)

・第2次募集 (令和2年7月1日から9月30日まで)

決定件数 6件 (決定金額 1,300,000 円)

・第3次募集 (令和3年1月5日から2月26日まで)

決定件数 14件 (決定金額 3,570,000 円)

2. これからの広域助成事業の検討について

令和2年度は広域事業の3年毎の見直しの年に当たることから、今後の広域事業の必要額等を検討するため、市町共同募金委員会や市町社会福祉協議会の関係者からなる「広域助成事業検討委員会」を9月に設置し、以後2回にわたる審議を経て、11月に「広域助成事業検討委員会検討結果報告書」が取りまとめられた。

その内容は、広域事業費の総額を近年の一般募金総額の減少に鑑み現行より5%減ずるとともに、その市町別負担方法を一部見直すとしたものである。

併せて、広域助成事業の区分および内容については配分委員会における審議によることとされた。

この報告を受けて、1月に配分委員に対するアンケート調査を行い、現行の広域助成事業の枠組みや運用基準に係る見直し原案を作成し、これが3月開催の配分委員会、理事会および評議員会において承認されたことから、令和3年度からの3年間については、当該内容に基づき事業を進めていくこととなった。

広域助成事業に係る主な見直し点は、次のとおりである。

- ・「じぶんの町を良くするしくみ」特別助成事業の広域福祉活動支援事業への統合
- ・細目事業区分ごとの配分基本額の見直し
- ・連年助成等に係る採択基準の明確化

3. 業務運営の適正化について

(1) 適正な財務処理の確保

統一会計ソフトを活用した経理処理の円滑化を図るために、市町共同募金委員会の会計担当者に対し令和2年度決算処理時に向けた研修会を開催するなどして、会計の適正な処理に努めた。

(2) 寄付金取扱業務の管理適正化

寄付金の取扱について、昨年度から着手した領収書の通し番号による全県管理を徹底するとともに、寄付金の金融機関口座への振込について促進を図るなどして、業務の適正な管理に努めた。

Ⅲ. 共同募金会の運営

1. 定款および諸規程に基づく理事会、評議員会等の開催

(1) 理事会

第1回（令和2年6月3日）文書審議

- ・令和元年度 事業報告（案）について
- ・令和元年度 会計決算報告（案）について
- ・滋賀県共同募金会新理事候補者の選任（案）について
- ・滋賀県共同募金会新助成事業等調査指導委員会委員の選任（案）について
- ・令和2年度 第1回評議員会の招集事項等について

第2回（令和2年8月6日）

- ・令和2年度 広域助成事業の配分方針（案）について
- ・令和2年度 広域助成事業の助成（案）について
- ・広域福祉活動支援事業の第2次募集について
- ・令和2年度 共同募金の目標額（案）および助成予定額（案）について
- ・令和2年度 NHK歳末たすけあい助成事業取扱要領（案）について
- ・令和2年度 「つかいみちを選べる募金」実施要綱（案）について
- ・新評議員候補者の選任（案）について
- ・新配分委員会委員の選任（案）について
- ・令和2年度 第2回評議員会の招集事項について

第3回（令和2年11月17日）

- ・令和2年度 「滋賀の町を良くするしくみ」助成事業の助成（案）について
- ・令和2年度 NHK歳末たすけあい助成事業の助成（案）について
- ・災害等準備金の拠出について
- ・令和2年度 第3回評議員会の招集事項について

第4回（令和3年3月11日）

- ・赤い羽根共同募金 令和2年度 執行計画（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和3年度 事業計画（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和3年度 予算（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和3年度 A募金目標額（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和3年度に広域で行う助成事業（案）について
- ・経理規程の改正（案）について
- ・役員等の改選にかかる選出区分（案）について
- ・令和2年度 第4回評議員会の招集事項について

(2) 評議員会

第1回（令和2年6月22日）文書審議

- ・令和元年度 事業報告（案）について
- ・令和元年度 会計決算報告（案）について
- ・滋賀県共同募金会新理事の選任（案）について
- ・滋賀県共同募金会新助成事業等調査指導委員会委員の選任（案）について

第2回（令和2年8月25日）

- ・令和2年度 広域助成事業の配分方針（案）について
- ・令和2年度 広域助成事業の助成（案）について
- ・広域福祉活動支援事業の第2次募集について
- ・令和2年度 共同募金の目標額（案）および助成予定額（案）について
- ・令和2年度 NHK歳末たすけあい助成事業取扱要領（案）について
- ・令和2年度 「つかいみちを選べる募金」実施要綱（案）について
- ・新配分委員会委員の選任（案）について

第3回（令和2年11月26日）

- ・令和2年度 「滋賀の町を良くするしくみ」助成事業の助成（案）について
- ・令和2年度 NHK歳末たすけあい助成事業の助成（案）について

第4回（令和3年3月24日）

- ・赤い羽根共同募金 令和2年度執行計画（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和3年度事業計画（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和3年度予算（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和3年度A募金目標額（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和3年度に広域で行う助成事業（案）について
- ・経理規程の改正（案）について
- ・役員等の改選にかかる選出区分（案）について

(3) 監事会

第1回（令和2年5月21日）

- ・令和元年度 事業報告について
- ・令和元年度 収支決算について

(4) 正副会長会

第1回（令和2年7月15日）

新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた

- ・令和2年度 広域助成事業の配分方針（案）について
- ・各委員会の開催方法・開催方針（案）について
- ・広域助成事業検討委員会の組織・運営方針の見直し（案）について

第2回（令和3年2月8日）

- ・令和3年度 広域助成事業の見直し（原案）について
- ・令和3年度 役員等改選に係る選出区分（案）について

（5）配分委員会

第1回（令和2年7月22日）

- ・令和2年度 広域助成事業の配分方針（案）について
- ・令和2年度 広域助成事業の助成（案）について
- ・令和2年度 「公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成金」推薦（案）について
- ・広域福祉活動支援事業の第2次募集について
- ・令和2年度 共同募金の目標額（案）および助成予定額（案）について
- ・令和2年度 NHK歳末たすけあい助成事業取扱要領（案）について
- ・令和2年度 「つかいみちを選べる募金」実施要綱（案）について

第2回（令和2年11月10日）

- ・令和2年度 「滋賀の町を良くするしくみ」助成事業の助成（案）について
- ・令和2年度 NHK歳末たすけあい助成事業の助成（案）について
- ・令和2年度 「つかいみちを選べる募金」エントリー団体の認定（案）について
- ・災害等準備金の拠出について

第3回（令和3年3月2日）

- ・赤い羽根共同募金 令和2年度執行計画（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和3年度に広域で行う助成事業について

なお、例年実施している助成先決定のための現地調査については、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により実施困難となったため、書面審査のみに切り替えている。

（6）助成事業等調査指導委員会

新型コロナウイルス感染症の拡大により助成施設・団体の現地調査が困難となったため開催を見送った。

（7）評議員選任・解任委員会

第1回（令和2年8月18日）

- ・社会福祉法人滋賀県共同募金新評議員の選任（案）について

2. 市町共同募金委員会関係会議・研修会の開催

- ・市町共同募金委員会担当者連絡会（オンライン開催）（令和2年9月9日）
- ・第1回市町共同募金委員会事務局長会議（オンライン開催）（令和2年12月7日）
- ・市町共同募金委員会 会計研修（オンライン開催）（令和3年1月26日）
- ・第2回市町共同募金委員会事務局長会議（オンライン開催）（令和3年2月17日）

IV. 募金・広報活動

1. ホームページ等による情報提供

本会の開設するホームページ掲載記事の随時更新に努めた。

また、赤い羽根データベース「はねっと」へ募金実績額や助成結果等のデータ入力を行い、「はねっと」を通じて中央共同募金会ホームページとも連動した情報提供を行うことにより、助成の透明性の確保に努めた。

2. 広報資料の作成・配布

共同募金運動広報紙「ゆくえとけいかく」を作成し、各戸、企業、団体等に配布した。
(作成枚数505, 300枚)

3. 運動資材の作成・配布

- (1) 赤い羽根
- (2) 募金バッジ
- (3) ポスター
- (4) パンフレット
- (5) 募金袋、協力依頼状等

4. 募金箱等の設置

滋賀県厚生会館玄関に募金箱を設置した。併せて、共同募金のキャラクター看板を、通常期間中、事務所の道路に面した窓に掲示し運動期間のPRを行った。

5. 県内巡回訪問

共同募金運動の開始に伴い、県内19市町共同募金委員会へ巡回訪問を行い、積極的な共同募金運動の実施を依頼した。

6. テレビ・ラジオ放送

県内のテレビ・ラジオ放送局の協力を得て、共同募金に対する協力依頼、協力に対する御礼のスポット放映(放送)をするとともに、共同募金の用途をPRするビデオの放映を実施した。

V. 災害たすけあいの実施

1. 義援金

(1) 全国(県外)の災害に対する義援金の募集

災害救助法が適用された全国の災害に関し、中央共同募金会と連携して次のとおり義援金の募集を実施した。

(総額1,125,828円)

※受付期間終了分(令和元年台風15号 千葉県 災害義援金)1,000円含む。

- ①平成28年熊本地震義援金 (3,210円)
(平成28年4月15日から令和3年3月31日)
- ②平成30年7月豪雨災害義援金 (4,293円)
(中央共同募金会および岡山県、広島県など3府県)
(平成30年7月10日から)
- ③令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金 (3,100円)
(令和元年9月2日から令和2年8月31日まで)
- ④令和元年台風第19号災害義援金 (55,828円)
(中央共同募金会および宮城県、福島など3府県)
(令和元年10月16日から令和3年3月31日)
- ⑤令和2年7月豪雨災害義援金 (1,058,397円)
(中央共同募金会および千葉県、長野県など9府県)
(令和2年7月13日から)

2. 災害見舞金

県内において台風や火災等により被害を受けた家庭に対し、次のとおり見舞金を交付した。

見舞金総額 880,000円 (44件)

VI. 中央および近畿ブロックの会議への参加等

1. 中央共同募金会主催の会議・研修会への参加 (※(3)を除きすべてオンライン開催)
 - (1) 第191回評議員会 (令和2年7月6日)
 - (2) 都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議 (令和2年7月15日)
 - (3) 第192回評議員会(文書審議) (令和2年10月23日)
 - (4) 都道府県共同募金会職員意見交換会 (令和2年12月15・16日)
 - (5) 都道府県共同募金会職員研修会 (令和3年1月21・22日)
 - (6) 都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議 (令和3年2月10日)
 - (7) 第193回評議員会 (令和3年3月4日)
2. 近畿府県共同募金会ブロック会議の開催・研修会への参加 (※いずれもオンライン開催)
 - (1) 近畿府県共同募金会常務理事・事務局長会議 (令和2年9月4日)
 - (2) 近畿府県共同募金会職員研修会 (令和2年9月4日)

VII. 顕彰の実施

令和2年度赤い羽根共同募金運動の協力者に対し、次のとおり顕彰した。

(1) 滋賀県共同募金会会長表彰

①優良奉仕功労者 7名

(共同募金運動に10年以上に亘り奉仕・協力しその活動が他の模範となる個人)

②優良奉仕団体 5団体

(自主的に街頭募金等の活動を行い、5年以上に亘り毎年協力のあった団体、または市町共同募金委員会の協力要請を受け、7年以上に亘り街頭募金等の活動に毎年参加協力している団体)

(2) 滋賀県共同募金会会長感謝

①高額寄付者 21名・法人・団体

(前年度の共同募金(歳末たすけあいを含む。)に、10万円以上の寄付があり、感謝に値する個人および法人・団体)

②継続寄付者 70名・法人・団体

(単年度の寄付額が基準に達しないものであっても、継続的に協力があり、市町共同募金委員会会長が感謝に値すると判断したもの)

VIII. 受配者指定寄附金の受付

指定寄附金制度に関して、寄付者や受配予定者等からの申請を受け付け、中央共同募金会および財務省における審査関連手続きを行うなど、寄付金に係る税制上の優遇措置の取り扱いについて適正な運用を図った。

承認された寄付金は本会で受け付け、審査事務費を控除した上で指定先の法人に配分した。

助成金額 10,010,000円 (1件)

IX. 民間助成事業の推薦

中央競馬馬主社会福祉財団の助成金について受配者の推薦等の業務を行った。

助成金額 5,970,000円 (7法人・施設)

X. その他

近畿府県共同募金会共催事業として募金バッジのデザイン募集を行い、令和2年5月14日に書面審議においてデザイン優秀作品を決定し、募金バッジを作成、配布した。

デザイン募集応募点数 : 215点

本会購入配布数 : 8,829個